

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心型放課後等デイサービスSunny			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 6日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15家庭	(回答者数)	11家庭
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日		～	2025年 11月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【お子さん一人ひとりの個性を大切にしている事】 職員間で日々のミーティングやモニタリング会議を行い、お子さんの状態や変化を共有しながら支援を行っています。重症心身障害児・医療的ケア児という特性上、わずかな表情や反応、視線などから意思を汲み取る姿勢を大切にしながら支援している点は私たちの強みの一つと言えます。	医療的ケアや体調面への配慮が必要なお子さんが安心して過ごせるよう、看護師・保育士・支援員が連携しています。日々のミーティングでは、細かなスケジュールの確認、その活動時にお子さんそれぞれがどの職員と、どんな姿勢で、参加するか、といった事まで打ち合わせしながら、日々の支援を組み立てています。	送迎を含めると、勤務時間ギリギリまで支援をしている事も多く、日々の振り返りに時間を割くことがなかなか難しい面があります。しかしながら、きちんと振り返りの時間を持つことで、より充実した取り組み、お子さんのニーズ把握なども可能になると考えています。必要に応じて、送迎時間の相談など行っていきます。
2	【保護者様との丁寧な意思疎通を大切にしている事】 HUGでの連絡や送迎時の引継ぎ、定期面談等を通して日々の様子や健康状態の共有を行い、保護者さまの子育てに寄り添いたいと思いつながりながら支援しています。保護者アンケートにおいても、職員の共感的な関わりや相談のしやすさについては肯定的な評価が得られています。	日々の連絡帳や送迎時のやり取りを通して、お子さまの様子を丁寧にお伝えするとともに、ご家庭の思いや困りごとにも耳を傾けることを大切にしています。ご家族が安心して利用できる事業所であることを目指し、継続的な対話を意識して取り組んでいます。	複数の事業所、サービスをご利用されている方にとっては、定期的な面談も、×(かける)事業所数ということで、何度も面談が入り、その日程調整だけでも苦労されているとお聞きしています。事業所間の連携を進め、面談の日程をまとめる等の工夫も今後はしていきたいと思っています。
3	【風通しのよいチーム体制を意識し、意見が言い合える事】 日々の打ち合わせや振り返り、カンファレンス等を通じて職員同士が自由に意見を出し合える雰囲気があり、情報共有や支援の検討が活発に行われていると思います。チームで支援を行っているという意識が高く、お子さん達の状況に応じた柔軟な支援体制が整えられていると言えます。	時間に追われる事も多い現場ではありますが、日々のMTGは情報伝達のみにとどまらず、その時々に必要なトピックがあればとことん確認、議論し合うといった意識を職員皆が持っています。時折、白熱しすぎて時間超過する事もありますが、みな真剣に支援の中身を考えているからこそだと思っています。	複数の放デイ、その他のサービスを利用されている方も多くおられます。事業所内だけでお子様の支援を完結するのではなく、他事業所さんとの連携も進めていきます。 特にお子様への対応や声掛けの統一、セラピストさんが関わっておられるお子様の情報共有など、積極的に行っていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【活動スペースや設備面の制約】	開設当初からではありませんが、利用されているお子さん達は、バギーや姿勢保持具、医療機器等の物品が多く、活動スペースや動線が手狭になる場面があります。成長に伴い身体サイズも大きくなるため、収納方法や環境設定などのさらなる工夫が必要だと考えています。	物品整理、収納方法を見直し、活動内容に応じたスペースの使い分けなどを行い、限られた環境の中でも安全に活動できる空間づくりを進めます。また必要に応じ設備や備品の整備・増設なども検討しながら、お子さんの成長や利用状況に合わせた環境調整を行っていきます。
2	【記録管理や業務改善にむけた仕組み作り】	日々のミーティングや振り返りは実施できていますが、PDCAサイクルとして体系的に整理されているとは言い難い部分があります。また支援記録やケア記録などの情報が分散しやすく、職員間で共有しやすいファイリング、仕組みづくりが課題となっています。	日々の振り返りやミーティングを支援の改善につなげられるような記録や共有の仕方を考えていきます。またそれらはPDCAサイクルを意識した形で行っていきます。
3	【地域交流やご家族支援の機会の提供】	地域の子どもたちとの交流や保護者同士の交流、家族向けの学習機会等については十分に実施できていない現状があります。医療的ケアや重症心身障害といった状況から来る地域連携の難しさを感じる事もあります。	利用児の体調や安全面に十分配慮しながら、地域とのつながりを感じられる機会づくりについて検討していきます。また保護者同士の交流や家族向けの情報提供など、ご家族支援の充実につながる取り組みについても、ニーズを把握しながら進めていきたいと思っています。